第2回京丹波町成年後見支援センター運営委員会

日時：令和7年2月18日（火）
午後1時30分～3時00分
場所：京丹波町役場 1階 防災会議室
及びオンライン（ZOOM活用）

出席者 委員：松田委員長、上田副委員長、杉森委員、津田委員、木南委員

オブザーバー：（オンライン出席）京都府 今井社会福祉士
京都家庭裁判所 田村主任書記官、山口庶務課長

法人後見説明：（福）京都府社会福祉協議会 坂田福祉部長

事務局：健康福祉部福祉支援課：原澤課長、堀補佐、上西補佐、西村補佐、中川主任、桐村
京丹波町社会福祉協議会：山本課長、山崎係長（欠席：岬次長）

1 開会（原澤課長の司会により進行）

2 委員長あいさつ（委員長）

今年度最後の委員会となります。来年度以降委員の構成が変更になりますが、弁護士会は交代がなく、私が内定しています。本日もよろしくお願ひします。

3 協議事項

（1）京都府社協が行う法人後見について

（説明：京都府社会福祉協議会 資料1）

委員長：町社協の立場から補足をしていただけますか。

事務局：実務については、町社協で実施します。月1回、1時間程度訪問し、生活費の補充等の支援を行います。本人は気になることがあれば、たびたび電話をされますので、電話があった際は訪問し、写真等記録を取り、「府社協にも伝えておく。」とお伝えすると安心されます。

副委員長：相続登記については、相談を受けた段階で、まだ進んではいないということではよかったですでしょうか。また、実際の支援について、支援員を付けずに職員で対応しているという認識でよかったですでしょうか。

事務局：後見の支援員は付けずに、社協の職員が支援しています。今後時期は未定ですが、後見支援員に変更する可能性はありますが、現状は職員で対応しています。

委員長：支援員の対応できる事案とそうでない事案があると思うので、ひとつずつ積み上げていくしかないと思います。頑張ってくださいと思います。ほかに質問がなければこれで府社協からの説明を終了させていただきます。

事務局：坂田部長におかれましては、この後会議の予定があるとのことで、ここで退席となります。ありがとうございました。

(2) 京丹波町成年後見支援センターの運営状況について

(説明：事務局(堀補佐)資料2)

副委員長：体制整備に向けた取組の南丹圏域の担当者情報交換会について、どのような話をしているのか、もしよければ概要を教えてください。

事務局：3市町持ち回りで行っております。3市町に加え、京都府の今井氏、南丹保健所にも参加いただき、それぞれの取組状況の報告ののち、意見交換会を行っています。今後の会議の参集範囲等の拡大について、市町の社会福祉協議会等にも出席いただき、意見交換を行っていきたいと考えているところです。ほかにも、毎回1つまたは2つの事例検討を行っています。

事務局：南丹圏域の担当者意見交換会について、現在は行政機関が出席している会議であるが、圏域の和をどのように広げるか、まず市町の社会福祉協議会に声かけを行う予定であるが、今後医療機関等にも声を掛けていく案が出ています。

副委員長：報告の中では触れられていなかったが、担い手不足の件について話はされていますか。

事務局：前回の南丹市での会議でも、担い手不足の話は出ていました。どういった対応をしていくかについては、3市町で事情が異なるため、どのような方向性といった話ではなかったが、現状についての報告は亀岡市からもありました。

副委員長：亀岡市も担い手不足を気にかけていらっしゃるようです。障害者施設が集団申立てを行ったことがあり、そこで後見人をしている親御さんが高齢化しているため、リタイヤされた時の担い手について、心配されている状況があります。亀岡市の中核機関が、現状についてのアンケートを実施する予定です。もし、アンケートを提供いただけるなら、京丹波町においてもアンケートを実施して、現状の調査を行ってもよいのではないかと思います。

委員長：私も施設入所者の親御さんに頼まれて申立を行ったことがあります。8050問題のように、親御さんが高齢になり、認知症の症状が出るなどで個別に弁護士や司法書士に相談がくるケースもありますが、施設が一斉に進める話もあります。ただ、一斉に進むと誰が管理するのかなど、対策を考えておく必要があります。

委員長：南丹市は、市民後見人を養成しているが、高齢化しており、定年も設けておられます。今後どうなるかといった心配もあります。新たに後見人を養成する状況ではなく、養成も大変で、次の養成に至っていません。養成のハードルをどのように下げるのかはどこにおいても課題となっています。

ほかにはないようであれば、次の議題に移らせていただく。

(3) 対応事例について(説明：事務局(堀補佐))

《議事録非公開》

(4) 令和7年度のスケジュールについて

(説明：事務局(原澤課長)資料4説明)

- 事務局：説明ではないが、先週末に行政端末の更新があり、システムが不安定となり、冒頭の府社協様の説明や資料の共有がうまくいかず申し訳ありませんでした。
- 委員長：成年後見に関する相談会について、対象者はケアマネといった事業者なのか、一般住民なのか、両方なのか、また、誰が行うのか、どんな感じで考えているのか、説明いただけますか。
- 事務局：これまで取組んだことがありませんが、一般の方向けの相談会が実施できればと考えています。ノウハウがないので、どのような形でやったらよいか、ご助言いただければと思います。
- 委員長：ほかにないようであれば、その他に進みます。

(5) その他

- 委員長：事務局より提案事項等ありましたら、お願いします。
- 事務局：2年間の任期終了ということで、せっかくですので、皆様から何かご発言があればお聞かせいただきたいと思います。
- 委員長：本日で最後の方もいらっしゃるので、皆様から一言ずつ挨拶をいただければありがたく存じます。私は来年もおりますので、来年もよろしくお願いします。
- 副委員長：リーガルサポートも同じ状況なので、引き続き私が委員となると思いますので、よろしくお願いします。
- 委員：社会福祉士会は、4月からほかのメンバーということになっておりますので、3月で退任させていただきます。2年間、準備期間も含め、お世話になりました。いろいろと勉強させていただいてありがたかったです。
- 委員：この2年間で、京丹波町の成年後見制度が進んだのを実感しております。府社協が進める法人後見を町社協でも取組ながら、京丹波町で利用者さん向けのサービスを提供できたことがよかったと思います。
- 委員：模索しながらでしたが、2年間で形ができてよかったと思います。本町のセンターの事業が、今後も活発になることを願っておりますし、そのためには皆様のお力が必要になりますので、今後もよろしくお願いします。
- オブザーバー：法人後見をはじめ、いろいろと取り組んでいただきました。これを契機としてこれからも積み重ねていただきたい。
- オブザーバー：どこの地域でも担い手不足の問題があると思います。届くべき所に権利擁護の支援の手が届く必要があります。ただし、権利擁護は、絶対に成年後見制度を使わないといけないものではありませんし、話にあった身元保証制度などいろいろなものを利用していければと思います。
- オブザーバー：委員会の立ち上げから見させていただいた。法人後見について大変お世話になりました。今後、法人後見について進んでいくと思うので、よろしくお願いします。

・ 次回委員会

(説明：事務局(原澤課長))

次回については、後日調整。

4 閉会(副委員長あいさつ)

今日が最後となられる方もおられるということで、2年間大変お世話になりました。中核機関としてのスタートが決して早かった訳ではありませんでしたが、2年間でとてもいい形の中核機関ができたかと思い、感謝します。今後は、後見人の支援であったり、受任者調整などその辺りまで進めたいかと思えます。私も並走してやっていきたいと思えます。あとは、後見制度のことを知らずに利用にいたっていない方が、町のどこかにおられると思うので、そういう人達に情報を届けるためにどうしたらよいか、この会議で考えていきたいと思えます。次年度もよろしく願います。本日はありがとうございました。